

2007年7月に作家(クリストフ・シャルル、藤井浩一郎)が小布施町を訪問調査し、小布施という固有な場所・環境に対しての作品を構想していただくことからはじめ、環境に定着(永久設置)させる「パブリックアート」としての計画自体を、美術館から地域へ提案しアプローチする企画展を開催いたします。

企画展展示期間を通して、具体的な展開へ向けて、地域の方々や観客の皆さんの印象と感想を重ねることで、アーティストの構想が広く受けとめられ、実現へ向かうことを期待します。

音響作品の作曲及び音響システムを計画するクリストフ・シャルル氏は、小布施の街路にて流れる音響として楽曲を作曲し、彫刻家の藤井浩一郎氏は、小布施町に設置する前提での彫刻作品(環境を映し出す新作:鏡面彫刻)をプランニングし、パブリックアートの意味と価値を提案します。

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture -

## 音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案

2008年1月18日(金)~2008年4月8日(火) 関連URL <http://obusecontemporary.com/html/p06.html>

vol.6 出品参加作家

### クリストフ・シャルル 音響 Christophe Charles

1964 フランスマルセイユ生まれ。  
1983~ インスタレーション、コンサート、サウンド、CD、空間音響  
1987~ メディア・アートの歴史的理論研究

研究:

1985-1987 Hochschule Bildende Kuenste/ ハンブルク (Gaststudent)  
1987-1996 Monbuscho 奨学金 (日本の文部省): 名古屋大学、日本大学 (東京)、筑波大学

1996: Phd と芸術とデザイン、筑波大学。  
1996-1997 Bourse ラボアジェ (フランスの外務省)  
1997: Phd(Doctorat es-lettres)、日本の研究、INALCO、パリ

フルタイム (専任教員)

1996-1999: 神戸芸術工科大学、ビジュアルコミュニケーションデザイン科 講師  
1999-2000: 中京大学情報科学部 講師  
2000~: 武蔵野美術大学 (東京) 映像学科 準教授

Lecturer (非常勤講師)

1995-1999: 武蔵野美術大学 (東京) 映像学科  
1997-1999: 精華大学 (京都) 版画科  
1997-1998: 筑波大学、比較文化学部  
1997-1998: 国際情報科学アカデミー (IAMAS、岐阜)  
2002-2003: 東京芸術大学 音楽学部  
2003-2004: 早稲田大学、川口大学  
2004-2006: 多摩美術大学 情報デザイン学科

個展

ギャラリースキャン (東京、1988)  
Giannozzo Kunstverein (ベルリン、1989)  
ギャラリー大波 (東京、1990)  
Gallery 内藤 (名古屋、1992)  
ギャラリーハム (名古屋、1993)  
横浜美術館アートギャラリー (1995)  
アートハウス (群馬、1998)

ソロコンサート (抜粋)

Nice MANCA Festival / フランス、1992、1997  
オーケランド Artspace / ニュージーランド 1997  
プラハナショナル・ギャラリー/Plasy Convent チェコ共和国、1997  
Dokumenta X Hybrid Workspace / カッセル、ドイツ、1997  
Buro7 / パリゲテ Institut、1998  
X-tract / ベルリン Podewil、2000  
Sound Art ICC / 東京、2000  
send+receive / Winnipeg、2000  
ポストテクノ (学的) 音楽シンポジウム / 東京 Zone、2002  
Frequenzen / Frankfurt Schirn Halle、2002

展覧会 (抜粋)

「Der Gute Ton Zum Schoenen Bild」/ ハンブルク Kunsthau1989  
「韓国日本パフォーマンスフェスティバル」/ Tokiwaza、東京 1990  
「Centre Vide」/ 谷中アートフォーラム、Tokyo、1991  
「M in M」project / 1992-1997 東京上野公園  
「目としての耳: 音の芸術家によるドローイング展」LACE1998  
「Near the Beggining」Symposium / Plasy、チェコ共和国 1997  
「サウンドアート」/ ICC (東京、2000)  
「(un)related-4 collaborators」、Saison Art Program Gallery (東京、2000)  
「PICAF」(釜山の国際現代の芸術祭 2000)  
「ラジカルファクション」(Installation sonore、ヴィクトリア & アルバート美術館、ロンドン、2001)

URL : <http://home.att.ne.jp/grape/charles/>

### 藤井浩一郎 彫刻 Kouichiro Fujii

1963 大阪府生まれ  
1988 東京造形大学造形学部研究生修了  
1992~ 鉄の大型立体 (循環源象シリーズ) 制作開始、東京野外現代彫刻展、横浜彫刻展等で発表  
1994~ 鉄粉を使用した平面作品と鉄の立体のインスタレーション等発表 (現代日本美術展、ときわ画廊個展等)  
1997~ ハリガネを使用した平面制作  
1997~1998 (財) ボーラ美術振興財団助成によりニューヨーク滞在  
2000 ホルベインスカラシップ奨学金 帰国後、INAX ギャラリー 2 ('99)、伊藤忠ギャラリー ('00)、VOCA 展 ('00、'01) 等で発表  
2002~ 折り紙ヒコーキを中心に制作開始。/ 素材: 紙、鉄、ステンレススチール等  
2003~ 東京造形大学 造形学科 非常勤講師

個展

1993「循環源象・鉄」ときわ画廊 (東京)  
1994「循環源象」ときわ画廊 (東京)  
1995「循環源象・領域」ときわ画廊 (東京)  
1996「循環源象・距離」ときわ画廊 (東京)  
1997「循環源象・その先の場所」ときわ画廊 (東京)  
1998「その先の場所/ドローイング」スペース遊 (東京)  
1999「鉄線ドローイング」INAX ギャラリー 2 (東京)  
1999「藤井浩一郎展」METAL ART MUSEUM  
2000「藤井浩一郎展」伊藤忠ギャラリー (東京)  
2000「藤井浩一郎展」Galerie de Cafe 伝 (東京)  
2001「藤井浩一郎展」ギャラリー TAGA (東京)  
2001「藤井浩一郎展」ギャラリー FLOOR2 (東京)  
2002「弱」朋矢 SAITO ギャラリー (東京)  
2002「藤井浩一郎展」スペース遊 (神奈川)  
2003「藤井浩一郎展」K's ギャラリー (東京)  
2003「夜、海月渡り」スペース 23° (東京)  
2004「Starship」ギャラリーせいほう (東京)  
2004「Take The STARSHIP」ギャラリー伝心柱 (山梨)  
2005「a spacious mind」ギャラリーイノス (東京)  
2005「Starship」高島屋 (大阪)  
2006「彫刻-線から」現代 HEIGHT Gallery DEN (東京)

主なグループ展

1992 東京野外現代彫刻展 砧公園 (東京)  
1993 横浜彫刻展 横浜美術館「美術の広場」(神奈川)  
1994「横浜の風」展 上海市美術館 (中国)  
1995 NICA'95 / シンポジウム 横浜 (神奈川)  
1996 原風景 VIII 東京都美術館 (東京)  
1998 ソクラテス現代野彫刻展 ソクラテス彫刻公園 (USA)  
1999 リテックスピエンナーレ 青山スバイラル (東京)  
2000 VOCA 展 2000 石川健次選 上野の森美術館 (東京)  
2001 VOCA 展 2001 佐々木吉晴選 上野の森美術館 (東京)  
2002「こころのパン」プロジェクト イズミット市立美術館他 5 都市巡回 (トルコ)  
2003「平和へのメッセージ」展 佐藤美術館 (東京)  
2003 上海現代芸術展 (中国)  
2006「Imaginary Truth」東京造形大学附属横山記念マンズー美術館 (東京)

収蔵

いわき市立美術館 (福島)  
神奈川県立近代美術館 (神奈川)  
世田谷区 (東京)  
鶴見区 (神奈川)  
西那須町 (栃木)  
三好町 (愛知)  
イズミット市立美術館 (トルコ)  
ソクラテス彫刻公園 (ニューヨーク)

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture

## オブセコンテンポラリー

<http://obusecontemporary.com>

千曲川ハイウェイミュージアム

CONTEMPORARY ART PROJECT 2008

長野県上高井郡小布施町大字大島 TEL.026-247-6600 FAX.026-247-6611

E-mail: [info@obusecontemporary.com](mailto:info@obusecontemporary.com) (お問い合わせ一般)

E-mail: [system@obusecontemporary.com](mailto:system@obusecontemporary.com) (サイトに関するお問い合わせ)



千曲川ハイウェイミュージアム 企画展示室

2008年1月18日(金) - 2008年4月8日(火)

開館時間 / 9:00 - 17:00 (会期中無休)

入館料: 大人 ¥300・高校生 ¥150・中学生以下無料

■上信越自動車道 / おぶせスマートインターより 0分 (ETC 装着車のみ)

信州中野 IC より車で 10分 ■長野電鉄 / 長野〜小布施間 30分 小布施駅より徒歩20分

(町内周遊シャトルバス有り / 地図上 — のライン) / 日券: 300円 / 3月~12月の土 日 祝日 + 行楽期の平日運行

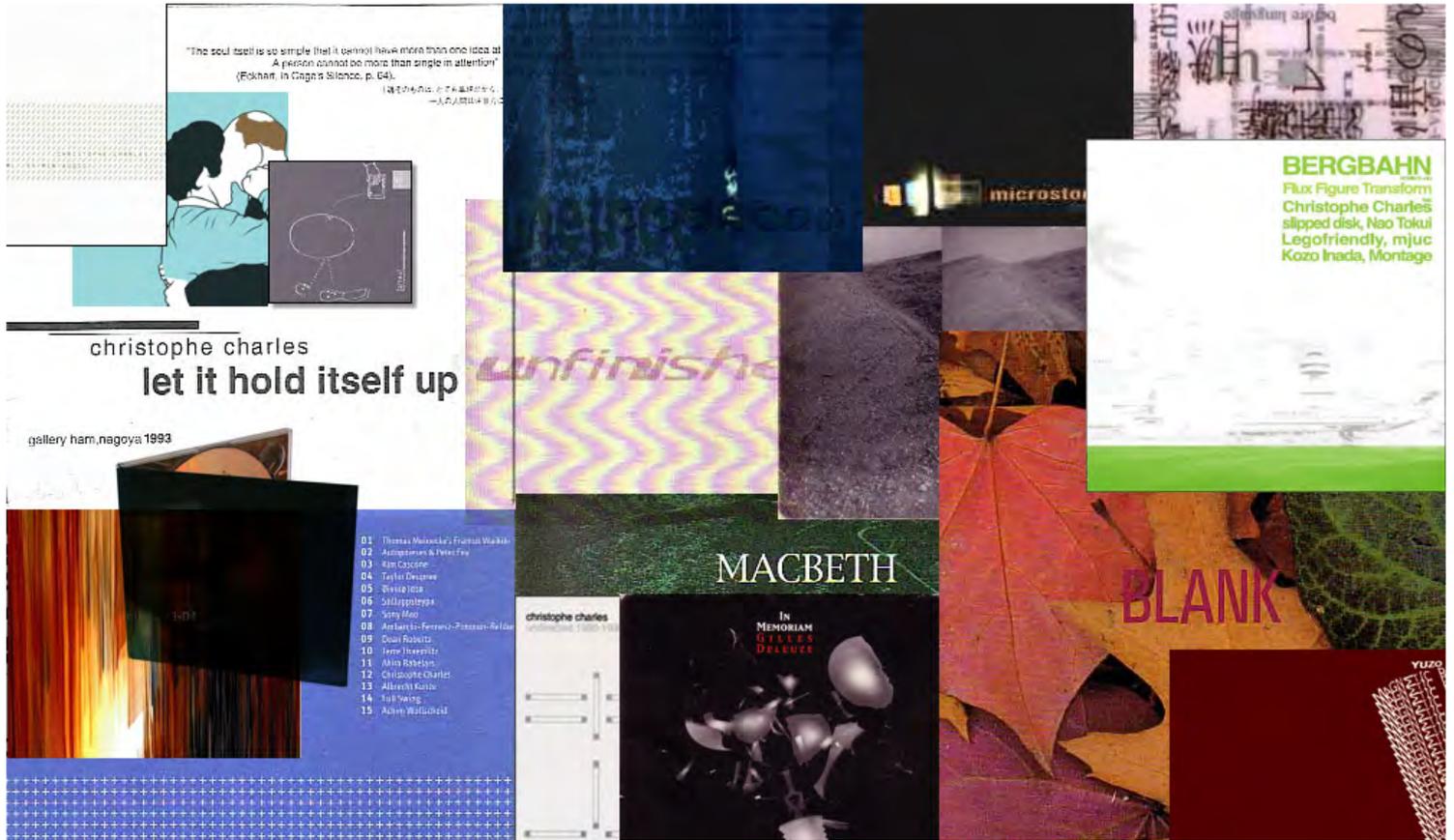


音響作家のクリストフ・シャルル氏は90年代初頭より、日常的な音や環境音などのサンプリングデータの複雑に絡み合う多数の音源を組み合わせ、波の動きにも似た永久運動のような循環のリズムが、意図とは無関係に発生し意外な結果を引き起こす、それぞれの音を自由に振る舞わせる創作活動を現在に至る迄、多様な局面で行ってきました。2007年7月に小布施にて環境探索及び環境音のサンプリングをしていただき、小布施の街路に流れる循環の楽曲を設置するという、音響のパブリックアートとして、その楽曲と設置計画の詳細を展示・提案していただきます。作家の示す「静寂もしくは空間を表現するための音」が、小布施という街路で、街の鼓動のように実現することを期待します。

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture -

## 音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案

2008年1月18日(金)~2008年4月8日(火) 関連URL <http://obusecontemporary.com/html/p06.html>



<http://home.att.ne.jp/grape/charles/audio.html>

クリストフ・シャルル  
Christophe Charles

1964 フランスマルセイユ生まれ。  
1983~ インスタレーション、コンサート、サウンド、CD、空間音響  
1987~ メディア・アートの歴史的理論研究

研究：  
1985-1987 Hochschule Bildende Kuenste/ハンブルク(Gaststudent)  
1987-1996 Monbusho 奨学金(日本の文部省):名古屋大学、日本大学(東京)、筑波大学  
1996: Phdと芸術とデザイン、筑波大学。  
1996-1997 Bourse ラボアジエ(フランスの外務省)  
1997: Phd(Doctorat es-lettres)、日本の研究、INALCO、パリ

フルタイム(専任教員)  
1996-1999: 神戸芸術工科大学、ビジュアルコミュニケーションデザイン科 講師  
1999-2000: 中京大学情報科学部 講師  
2000~: 武蔵野美術大学(東京) 映像学科 準教授

Lecturer(非常勤講師)  
1995-1999: 武蔵野美術大学(東京) 映像学科  
1997-1999: 精華大学(京都) 版画科

1997-1998: 筑波大学、比較文化学部  
1997-1998: 国際情報科学アカデミー(IAMAS、岐阜)  
2002-2003: 東京芸術大学 音楽学部  
2003-2004: 早稲田大学、川口大学  
2004-2006: 多摩美術大学 情報デザイン学科

個展  
ギャラリースキャン(東京、1988)  
Giannozzo Kunstverein(ベルリン、1989)  
ギャラリー大波(東京、1990)  
Gallery 内藤(名古屋、1992)  
ギャラリーノム(名古屋、1993)  
横浜美術館アートギャラリー(1995)  
アートハウス(群馬、1998)

ソロコンサート(抜粋)  
Nice MANCA Festival / フランス、1992、1997  
オークランド Artspace / ニュージーランド 1997  
プラハナショナル・ギャラリー/Plasy Convent チェコ共和国、1997  
Dokumenta X Hybrid Workspace / カッセル、ドイツ、1997  
Buro7 / パリゲーテ Institut、1998  
X-tract / ベルリン Podewil、2000  
Sound Art ICC / 東京、2000  
send+receive / Winnipeg、2000  
ポストテクノ(学的)音楽シンポジウム / 東京 Zone、2002

Frequenzen / Frankfurt Schirn Halle、2002

展覧会(抜粋)  
「Der Gute Ton Zum Schoenen Bild」/ ハンブルク Kunsthaus1989  
「韓国日本(フォーマンスフェスティバル) / Tokiwaaza、東京 1990  
「Centre Vide」/ 谷中アートフォーラム、Tokyo、1991  
「M in M」project / 1992-1997 東京上野公園  
「目としての耳: 音の芸術家によるドロージング展」LACE1998  
「Near the Beggining」Symposium / Plasy、チェコ共和国 1997  
「サウンドアート」/ ICC(東京、2000)  
「(un)related-4 collaborators」、Saison Art Program Gallery(東京、2000)  
「PICAF」(釜山の国際現代の芸術祭 2000)  
「ラジカルファッション」(Installation sonore、ヴィクトリア& アルバート美術館、ロンドン、2001)

URL : <http://home.att.ne.jp/grape/charles/>

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture

## オブセコンテンポラリー

<http://obusecontemporary.com>

千曲川ハイウェイミュージアム  
CONTEMPORARY ART PROJECT 2008

長野県上高井郡小布施町大字大島 TEL.026-247-6600 FAX.026-247-6611  
E-mail: [info@obusecontemporary.com](mailto:info@obusecontemporary.com) (お問い合わせ一般)  
E-mail: [system@obusecontemporary.com](mailto:system@obusecontemporary.com) (サイトに関するお問い合わせ)



千曲川ハイウェイミュージアム 企画展示室

2008年1月18日(金) - 2008年4月8日(火)

開館時間 / 9:00 - 17:00 (会期中無休)

入館料: 大人 ¥300 / 高校生 ¥150 / 中学生以下無料

■上信越自動車道 / おぶせスマートインターより0分 (ETC 装着車のみ)  
信州中野 IC より車で10分 ■長野電鉄 / 長野→小布施間 30分 小布施駅より徒歩20分  
(町内周遊シャトルバス有り / 地図上—のライン) / 日券: 300円 / 3月~12月の土 日 祝日 + 行楽期の平日運行



彫刻家の藤井浩一朗氏は、これまで詩的なドロ잉ワークを平行させ、金属を紙のように折り曲げて空間の情態を鋭利に作品化してきました。  
2007年より紡錘型鏡面立体の構想を開始しました。小布施町の調査から構想される今回のプランニングでは、澄み渡った大気と街並が、作品自体のミラー曲面に映り込みながら環境に溶ける設置計画の幾つかを展開します。  
この新しい作品の実現は、自らの造形を誇示するというよりも、移動する人波と季節の変化を柔らかく映し出し、時には雨に濡れ、雪を乗せて、歴史と記憶の町づくりをなされている小布施の今と未来をあるがままに見つめられる環境を創出することでしょう。

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture -

## 音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案

2008年1月18日(金)~2008年4月8日(火) 関連URL <http://obusecontemporary.com/html/p06.html>



Obuse-plan 2007 3D CG : Kenichi Magario / basic Photograph :Tetsuya Machida

藤井浩一朗 / Kouichiro Fujii

- 1963 大阪府生まれ
- 1988 東京造形大学造形学部研究生修了
- 1992~ 鉄の大型立体(循環源象シリーズ)制作開始、東京野外現代彫刻展、横浜彫刻展等で発表
- 1994~ 鉄粉を使用した平面作品と鉄の立体のインスタレーション等発表(現代日本美術展、ときわ画廊個展等)
- 1997~ ハリガネを使用した平面制作
- 1997~1998 (財)ホーラ美術振興財団助成によりニューヨーク滞在
- 2000 ホルベインスカラシップ奨学帰国後、INAX ギャラリー2 ('99)、伊藤忠ギャラリー ('00)、VOCA 展 ('00、'01) 等で発表
- 2002~ 折り紙ヒコウ半を中心に制作開始。/ 素材:紙、鉄、ステンレススチール等
- 2003~ 東京造形大学 造形学科 非常勤講師

個展

- 1993「循環源象・鉄」ときわ画廊(東京)
- 1994「循環源象」ときわ画廊(東京)
- 1995「循環源象・領域」ときわ画廊(東京)
- 1996「循環源象・距離」ときわ画廊(東京)
- 1997「循環源象・その先の場所」ときわ画廊(東京)
- 1998「その先の場所/ドロ잉」スペース遊(東京)
- 1999「鉄線ドロ잉」INAX ギャラリー2(東京)
- 1999「藤井浩一朗展」METAL ART MUSEUM
- 2000「藤井浩一朗展」伊藤忠ギャラリー(東京)
- 2000「藤井浩一朗展」Galerie de Cafe 伝(東京)
- 2001「藤井浩一朗展」ギャラリー TAGA(東京)
- 2001「藤井浩一朗展」ギャラリー FLOOR2(東京)
- 2002「弱」朋矢 SAITO ギャラリー(東京)
- 2002「藤井浩一朗展」スペース遊(神奈川)
- 2003「藤井浩一朗展」K's ギャラリー(東京)
- 2003「夜、海ヲ渡ル」スペース23°(東京)
- 2004「Starship」ギャラリーせいほう(東京)
- 2004「Take The STARSHIP」ギャラリー伝心柱(山梨)
- 2005「a spacious mind」ギャラリーイノス(東京)
- 2005「Starship」高島屋(大阪)
- 2006「彫刻-線から」現代 HEIGHT Gallery DEN(東京)

主なグループ展

- 1992 東京野外現代彫刻展 砧公園(東京)
- 1993 横浜彫刻展 横浜美術館「美術の広場」(神奈川)
- 1994「横浜の風」展 上海市美術館(中国)
- 1995 NICA'95 パシフィック横浜(神奈川)
- 1996 原風景 VIII 東京都美術館(東京)
- 1998 ソクラテス現代野外彫刻展 ソクラテス彫刻公園(USA)
- 1999 リテックスビエンナーレ 青山スパイラル(東京)
- 2000 VOCA 展 2000 石川健次選 上野の森美術館(東京)
- 2001 VOCA 展 2001 佐々木吉晴選 上野の森美術館(東京)
- 2002「こころのパン」プロジェクト イズミット市立美術館他5都市巡回(トルコ)
- 2003「平和へのメッセージ」展 佐藤美術館(東京)
- 2003 上海現代芸術展(中国)
- 2006「Imaginary Truth」東京造形大学附属横山記念マンズー美術館(東京)

収蔵

- いわき市立美術館(福島)
- 神奈川県立近代美術館(神奈川)
- 世田谷区(東京)
- 鶴見区(神奈川)
- 西那須野(栃木)
- 三好町(愛知)
- イズミット市立美術館(トルコ)
- ソクラテス彫刻公園(ニューヨーク)

vol.6 Environmental forming by sound and sculpture

## オブセコンテンポラリー

<http://obusecontemporary.com>

千曲川ハイウェイミュージアム

CONTEMPORARY ART PROJECT 2008

長野県上高井郡小布施町大字大島 TEL.026-247-6600 FAX.026-247-6611

E-mail: [info@obusecontemporary.com](mailto:info@obusecontemporary.com) (お問い合わせ一般)

E-mail: [system@obusecontemporary.com](mailto:system@obusecontemporary.com) (サイトに関するお問い合わせ)



千曲川ハイウェイミュージアム 企画展示室

2008年1月18日(金) - 2008年4月8日(火)

開館時間 / 9:00 - 17:00 (会期中無休)

入館料: 大人 ¥300 · 高校生 ¥150 · 中学生以下無料

■上信越自動車道 / おぶせスマートインターより0分 (ETC 装着車のみ)

信州中野 IC より車で10分 ■長野電鉄 / 長野←→小布施間 30分 小布施駅より徒歩20分

(町内周遊シャトルバス有り / 地図上—のライン) / 日券: 300円 / 3月~12月の土 日 祝日+行楽期の平日運行

